.1|1.1|1. CISCO

IT インフラにおける 可視化の基礎および導入事例 "ThousandEyes" 概要紹介

竹内 一真 / Kazuma Takeuchi シスコシステムズ合同会社 2024年12月11日



Kazuma Takeuchi / 竹內 一真

Enterprise SE3 Solutions Engineer

About Me

経歴

- 。FY23新卒(2023年度入社)
- 。 製造業のお客様へのPre Sales

趣味

。 サッカー観戦

☺ Education

● 同志社大学

情報システムデザイン学科

- 。 AR/Droneの研究
- **同志社大学大学院** 情報工学専攻
 - 。 AR / Drone / SLAM / ROSの研究

Work Experience

2021 - 2022

DMM WEBCAMP:プログラミングメンター

Ruby on Rails / MySQL

Research Assistant:経済産業省プロジェクト

C++ / Python / SLAM

2020 - 2023

大学へのWebサイト・アプリ提供

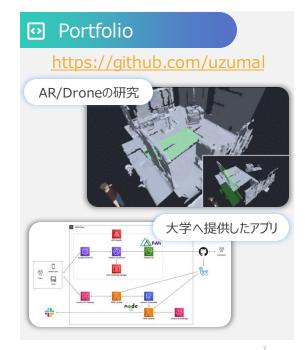
Next.js / Nuxt.js / AWS / Firebase

Skills

Infrastructure: CCIE#68237/DEVASC

Cloud: AZ-900/AWS SAA

Linux: LPIC101/RHCSA

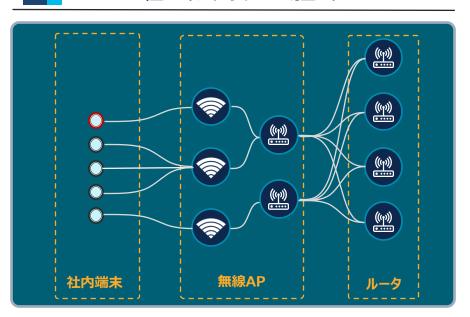




通信が遅い、繋がらない ヘルプデスクに連絡 ネットワークの問い合わせが 大量に送られてくる



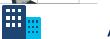




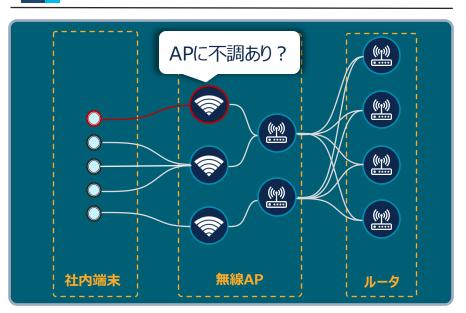


通信が遅い、繋がらない ヘルプデスクに連絡 本当に私たちの役割なのか? とりあえずAPを調査してみよう





A社のインフラチーム担当



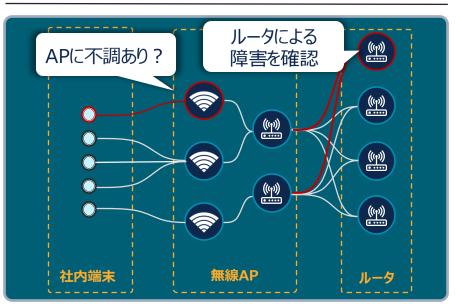


通信が遅い、繋がらない ヘルプデスクに連絡 場当たり的な障害切り分け 本当に私たちの役割だった…





A社のインフラチーム担当



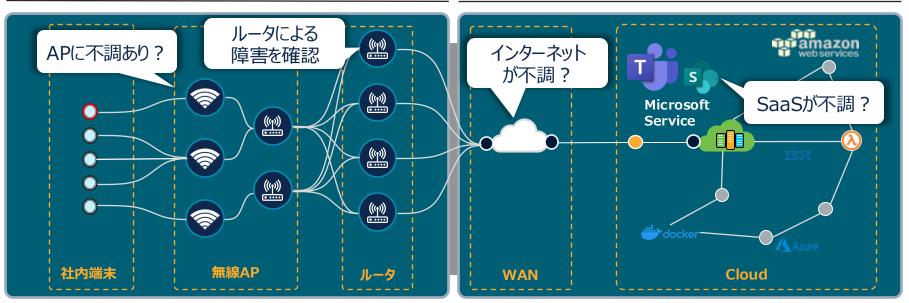


通信が遅い、繋がらない ヘルプデスクに連絡 確認範囲が多すぎて 「<mark>繋がっていた当たり前</mark>」の 維持が困難



A社のインフラチーム担当

インターネット · SaaS





通信が遅い、繋がらない ヘルプデスクに連絡 確認範囲が多すぎて 「<mark>繋がっていた当たり前</mark>」の 維持が困難



A社のインフラチーム担当

インターネット · SaaS

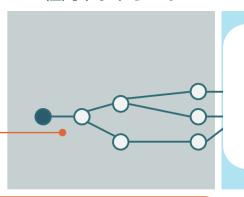


従来の監視とThousandEyes での監視

社内ネットワーク

インターネット

SaaS プロバイダ



SNMI NetFlow Syslog パケット・マラチャ

機器からの監視データの取得可視化も不可

"収集調査型"

パッシブ監視

SNMP, NetFlow, Syslog パケットキャプチャ

ネットワーク機器からデータを収集し 主に**社内ネットワークの監視・診断**

"自発検知型"

アクティブ監視

ThousandEyes

監視用パケットを送信し、

ユーザーアプリの動作をシミュレーション → インターネットやSaaS プロバイダまでを監視

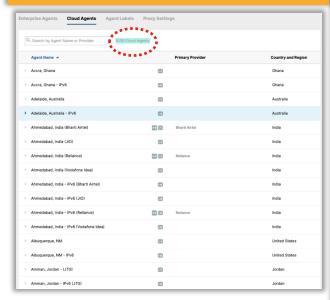
ThousandEyesとは

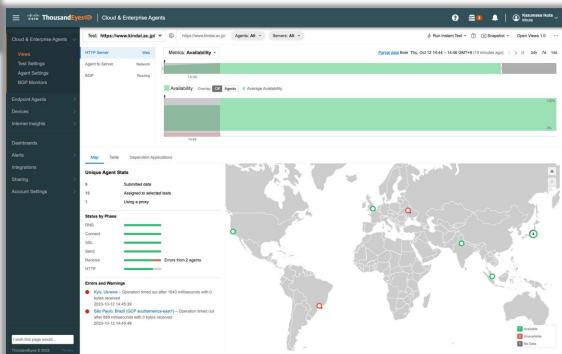
監視用パケットを送信して得た実通信データにより、外部ネットワークの状態を把握問題の切り分けと原因特定に貢献



ThousandEyesとは

クラウド上にある1030のエージェント 即時利用可能





世界中から近大ポータルへの接続を能動的に可視化

問題の検知と切り分け

オンラインショップのサイトが遅い



メールが送れない



ネットワークが遅い



ビデオ会議が途切れる



インターネットレポートの例

https://www.thousandeyes.com/resources/internet-outages-timeline



ズームの停止

また、9月15日には、Zoomで世界的な障害が発生し、世界中のユーザーに不正なゲートウェイ (502) エラーが発生しました。ThousandEyes は、ユーザーがログインできなくなったり、会議に参加できなくなったりするなど、さまざまな影響を観察しました。場合によっては、すでに会議に参加しているユーザーが会議から追い出されることがありました。

根本原因は確認されていませんが、Zoomのバックエンドシステム、つまりトラフィックの解決、ルーティング、再分配機能に問題があるようです。

当初は、パンデミック以降、Zoom のパースト容量として機能している AWS に問題があるのかどうかについて、多少の混乱がありました。Zoom ユーザーは、インフラストラクチャがホストされている場所に関係なく、世界中で問題を経験しているため、これが当てはまらないことがすぐに明らかになりました。Zoom は完全に AWS 内にあるわけではなく、依然として主に独自のデータセンターでホストされているため、世界中の拠点が影響を受けており、停止の原因は Zoom アプリケーション自体に問題があったというのが論理的な説明です。



自社の環境を独自に可視化できる Zoom の企業ユーザーも、問題が Zoom にあることをすぐに特定し、それ に応じてエスカレーションすることができます。

Microsoft365監視例: 2019年11月20日 障害発生

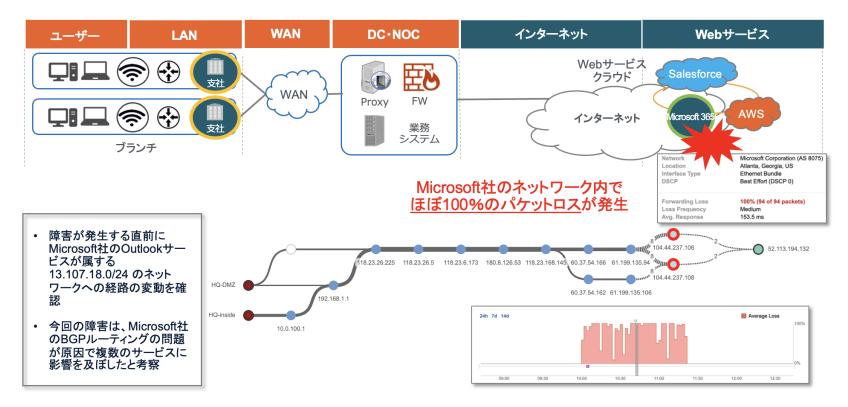
2019年11月20日 障害発生





Microsoft365監視例: 2019年11月20日 障害発生

どのように障害の原因を把握したのか?



Cisco社ITチームでのThousandEyes活用例

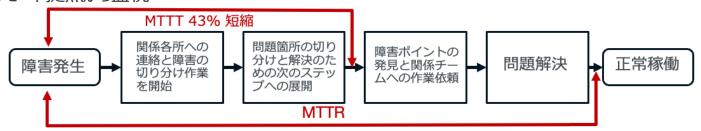
リモート拠点からの品質監視にて、MTTTが43%も短縮

【背景】

- SalesforceとWebexは会社にとって、重要なアプリ
- 現場からの要求により、オフィス、営業事務所、リモート拠点から監視

【ThousandEyes導入による効果】

- 遅延、パケットロス、BGPの到達状況と共に ネットワーク全体を見える化
 - 問題箇所をピンポイントに発見
- ・ 障害対応時には、
 - ・MTTT(平均トラブル対応時間)
 - ・MTTR(平均修復時間) のうち、MTTTの短縮を可能に



導入事例

日本でのお客様導入事例

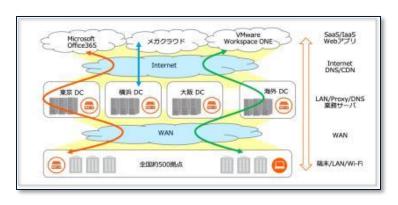
お客様目線



従来の監視に加えて、社外からのユーザー 目線での監視が可能になり、ネットワーク レイヤだけでなくHTTPまでのレイヤを横 断的に過去にさかのぼって監視

https://blog.thousandeyes.jp/yahoo/

従業員目線



データセンタや拠点に設置した監視 エージェントから、メガクラウドや Office365、VMware Workspace ONE 等のサービスレベルを社員目線で監視。

https://blog.thousandeyes.jp/richo/



通信が遅い、繋がらない ヘルプデスクに連絡 確認範囲が多すぎて 「<mark>繋がっていた当たり前</mark>」の 維持が困難



A社のインフラチーム担当

インターネット · SaaS



